



小木地区にぎやかに！

小木みなと公園で6月3日、「佐渡小木たらい舟・さざえ祭り」が行われました。

当日は晴天に恵まれましたが、風の影響で波があり、午後に予定されていた「たらい舟競漕」は中止となりました。

会場内は、ステージでの芸能披露や地元の特産品販売等にぎわい、「1回100円 さざえのつかみ取り」も大人から子どもまで大好評でした。



「はやぶさ」の艦内をぐるっと

6月23、24日の2日間、全長50.1メートルの海上自衛隊艦艇「はやぶさ」が、両津港中央ふ頭で一般公開されました。

艦を実際に運転する場所である艦橋では、操縦席に座った子どもたちがたくさんの操舵操縦装置に目を輝かせていました。



茅の輪まつりが行われました

6月30日、小木地区の木崎神社と琴平神社で「茅の輪まつり」が行われました。神社に飾られた大茅の輪を男性が左周り、女性が右



周りに3回ぐり、半年分の穢れを落とし、無病息災をお祈りする行事です。初夏の風物詩とされるお祭りに、浴衣姿の方も見られ、友人同士や家族など多くの方が訪れ、にぎわっていました。

佐渡市消防大会が開催されました

7月1日、佐渡市消防本部で、第9回佐渡市消防大会が開催されました。ポンプ操法競技会では、小型ポンプ操法の部に8チームが出場し、日頃の訓練の成果を競い合いました。

- 優勝 南佐渡方面隊第9分団本間班
- 準優勝 南佐渡方面隊第9分団本田班
- 第3位 中央方面隊第2分団第6部



未来に繋がる国際交流を！

佐渡へ文化教育研修に訪れていた台湾 新北（しんぺい）市の太鼓集団「八番青少年鼓坊」一行が、7月11日、市長表敬訪問のため市役所を訪れました。一行の代表である許（きょ）氏は、台湾の物品や新北市長からの信書を甲斐市長に手渡し、「今回初めて来させていただいたが、この素晴らしい島との交流を今後もぜひ続けたい。私たちの生まれ育った街にも遊びにいらしてください。必ず大歓迎いたします。」と伝えました。これを受けて市長は「今後も人と人との交流を続けたい。佐渡を徹底して宣伝していくためにも、ぜひ検討させていただきたい。」と述べ、固く握手を交わしました。

一行はその後、両津吉井小学校を訪れ、6年生の英語の授業に参加し、英語でお互いの自己紹介やゲームを通して子どもらしいにぎやかな交流を行いました。また、全校児童との文化交流会では、両津吉井小の伝統ある鼓笛隊が披露され、台湾の子どもたちは太鼓を披露しました。それぞれの演奏に会場内は終始大きな拍手で包まれました。一行を迎え入れた本多アヤ子校長は、「子どもたちにはいろいろな国の人と交流してほしい。自分たちの思いをしっかりと相手に伝えるということを学び、また、お互いの違いを認め合えるような子に育ててほしい。」と語っていました。



一人一人と握手を交わす甲斐市長



太鼓演奏を披露する台湾の子どもたち



真剣に聞き入る両津吉井小の児童たち

